



北ひろしま福祉会



障がい者支援事業所要覧

 **法人理念** わたしたちはすべての人の^{しあわせ}幸福のために地域福祉を推進する役割を担います



北ひろしま福祉会沿革



昭和24年(1949年)10月	10月1日富ヶ岡学園開設(知的障害児施設・定員65名)
平成 4年(1992年) 4月	北広島デイセンター開設 (知的障害者通所更正施設定員30名 国庫補助事業)
平成15年(2003年) 4月	法人名社会福祉法人北ひろしま福祉会に変更 支援費制度による事業開始
平成18年(2006年)10月	障害者自立支援法施行により、一部を新事業体系へ移行 北広島市地域生活支援事業「日中一時支援」「移動支援」 サービスを開始
平成20年(2008年) 4月	法人内事業所全てを新事業体系へ移行 相談支援事業所「めーでる」を市内美沢に開設 就労センタージョブ(多機能型事業所)を市内共栄に開設 北広島デイセンター(多機能型事業所)を市内共栄に開設 地域支援センター「グリーンパーク北ひろ」を開設
平成21年(2009年) 4月	北広島セルブ 開設
平成23年(2011年) 4月	居宅介護等事業所フィットマン 開設
平成25年(2013年) 4月	ふれあいステーションほっと(共生型事業)を開設し 運営委員会が管理運営を始める
平成25年(2013年) 8月	ケアプランセンター東部緑の苑 開設
平成26年(2014年) 5月	東部緑の苑 開設
平成26年(2014年) 7月	デイサービスセンターヴェール 開設
平成31年(2019年) 4月	児童発達・放課後等デイサービスつなぐ 開設
令和元年(2019年)10月	創立70周年を迎える
令和 2年(2020年) 4月	指定特定相談事業所 相談室ここに 開設
令和 3年(2021年)12月	就労センタージョブ 移転
令和 4年(2022年) 4月	北広島コラボ 開設





法人理念に込められたメッセージ

すべての人

私たちと関わるすべての人です。全世界の人々というニュアンスではなく、私たちが手を広げて届く範囲で関わるすべての人をイメージしています。その中で対象者を限定して関わることなく、“排除する人をつくらない”というメッセージが込められています。

幸福(しあわせ)

幸福と書いてしあわせと読みます。幸福とは、長期にわたって続く幸福感。しあわせとは、ふっとした瞬間に感じるもの。まずは、“ささやかなしあわせ”を感じられるような取り組みから、はじめていこうと考えています。

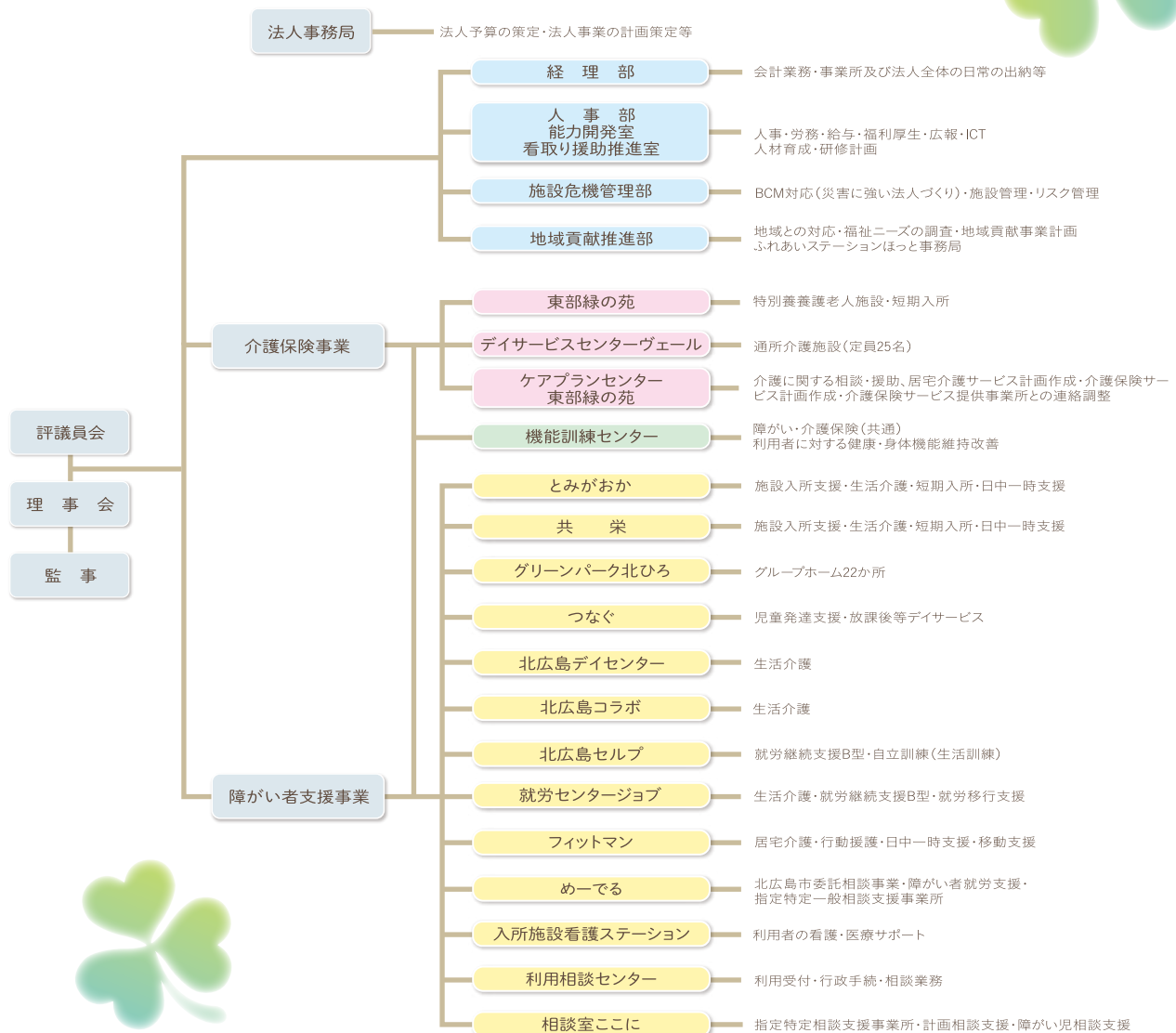
地域福祉の推進

制度によるサービスを利用するだけでなく、地域の人と人のつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくっていきます。

役割を担う

全部自分たちだけがやるのではなく、地域が主体となって活動できるように働きかけていきます。そして、そのチームの一員として力を発揮したい。

北ひろしま福祉会機構図(2022年4月1日現在)



居住支援

指定障害者支援施設
(施設入所・生活介護・短期入所・日中一時)

とみがおか

自閉症や行動障がいの方が多く生活しています。
利用者様一人ひとりの個性を大切に、
その人のライフステージに応じた個別支援計画を作成し、
支援しています。
どのような障がいがあってもよろこびにあふれる生活が送れるよう
生活・医療・栄養・機能訓練の専門スタッフと連携して支援を提供します。

利用定員 施設入所・生活介護80名、短期入所(男性2名、女性2名)



このような支援をしています

利用者様やご家族からの信頼獲得を最大の目標としています。
利用者様が心身ともに生き生きとした生活を送れるように、
質の高い支援を基本とし、食事や入浴、健康管理の支援を提供しています。

衣



自分で選ぶ、
決めるが
あふれる毎日

食



作る、食べる、
楽しむが詰まった
食事の提供

住



自分の趣味を
最大限に生か
せる居住空間

生活介護サービスについて

一人ひとりの生きがいと目標の達成が実現出来るよう
に、より専門的で効果的な日中活動プログラムを提供し
ています。

健康



散歩など身体
を動かす活動
も行います。

楽しむ



歌や踊り、た
くさんのレク
リエーション
で楽しみが溢
れています

はたらく



施設の除雪
作業の様子。

短期入所サービスについて

家庭で介護にあたる方が病気やその他急用等の場合に、夜間を含む短期間の施設利用で食事・排泄・入浴等の介護、個別の目的に応じた生活支援を提供します。

日中一時支援サービスについて

家庭で介護にあたる方が病気やその他急用等の場合に、介護や支援を必要とする方へ日中活動の場を提供します。



居住支援

指定障害者支援施設
(施設入所・生活介護・短期入所・日中一時)

共 栄

生活している利用者様の平均年齢が50歳以上と、高齢期を迎えられた方も多数暮らしている施設です。加齢と共に起こる身体状況の変化に、支援、医療(看護師)、栄養(管理栄養士)、身体機能(PT)と多職種で個々の暮らしを支えています。

住み慣れた環境で、いつまでも楽しく暮らして頂けるように、利用者様一人一人の人生の最期まで生ききる事のサポートを目指している事業所です。

利用定員 施設入所・生活介護77名、短期入所(男性2名、女性2名)



このような支援しています

利用者様やご家族の意向を尊重し、仲間達と共に自分らしい暮らしが送れることを目標としています。加齢や疾病により老いを感じながらも“今出来る事”を大切に、一人ひとりに必要なサポートを、福祉器具や専門的な介護技術(ノーリフトケア)を駆使して、心地良い介護を基本とした支援を提供しています。

安心・安全な暮らしの支援

通院や買い物の付き添い、管理栄養士が栄養バランスを考えたメニューを作り、個人に合わせた食形態での食事提供、利用者様の暮らしの中で生まれる意思形成、自己選択を大切に支援しています。



福祉器具や介護技術を活用した支援

浴槽に入る際のリフトや、大浴場へ入ることが難しい方のために、個別浴槽を完備し気持ちよく入浴をサポート。介護を受ける側も、介護をする側も双方に負担の少ない、ノーリフトケアを活用した、移動や移乗も安心・安全な環境で入浴できます。



生活介護サービスについて

日々の活動の中で、楽しみながら、適度な運動を行い“今出来る事”を維持します。館内でも運動できる器具を使った、ペダルエクササイズ、トランポリン、ルームランナー



特別なひと時 / 特別な時間を個別に演出

暮らしの中で、“一人一人の願い”“最高の時間”を形にする為に、利用者様と一緒に作りあげていく個別支援計画を大切にしています。



皆で米寿のお祝い



想い出に残る誕生日



自分で行う達成感のある活動参加

短期入所サービスについて

家庭で介護にあたる方が病気やその他急用等の場合に、夜間を含む短期間の施設利用で食事・排泄・入浴等の介護、個別の目的に応じた生活支援を提供します。



日中一時支援サービスについて

家庭で介護にあたる方が病気やその他急用等の場合に、介護や支援を必要とする方へ日中活動の場を提供します。

居住支援

指定共同生活援助事業所
(介護サービス包括型・
短期入所・体験利用)

グリーンパーク北ひろ

障がいのある方が、
自律した日常生活を営むことができるように
基幹的な事業所として、専任のスタッフが
生活支援及び就労支援等を行っています。



利用定員 共同生活援助119名 短期入所(男性1名、女性1名)、体験利用(1名)

ホームの特徴

ご本人の“できる”“なりたい(したい)”という想いと、挑戦していく思いを最大限に上げられるよう支援します。

(ご本人のステップに合わせた住環境と支援体制の提供)

各ホームごとに町内会へ加入し、地域の方々との“つながり”を築いていくことを重視して支援しています。



このような支援をしています

健康管理について

通院等に、職員が付き添いを行います。
・薬の管理、塗布等 地域訪問医療との連携
・所見の確認、入退院の手続き
・感染症蔓延時の看護師による体調管理



各ホームでの交流

月に一回程度、各ホームの利用者様同士でイベントを企画し、ホームパーティーや外食等を実施しています。
・鍋パーティー・カラオケ・温泉外出等



行政手続き

必要に応じて各種申請のお手伝いを行います。
・障がい福祉サービス・療育手帳
・障害基礎年金関係・成年後見制度等の手続き



年齢を重ねても利用できる グループホーム

障がい福祉サービスと介護保険サービスの併用で、より快適な生活を。

一人暮らしに向けた サポート

グループホームから一人暮らしに移行する方をサポートします。
相談支援事業所や就労先との連携もお任せ下さい。

就労の支援

一般企業等で就労をされている利用者様と契約に基づき就労定着支援を行います。
・定期的な企業訪問・個別面談・企業交渉等



ほんの一例ですが、
このように利用者様が
ご本人らしく社会生活を
送ることができるよう
支援をしています。

“短期入所”・“体験利用” サービスについて

グリーンパーク北ひろでは“短期入所”・“体験利用”という福祉サービスをご利用いただけます。

グループホームの居住環境の体験や、ご家族の負担軽減等の役割も担っています。

将来の生活の場の1つの選択肢としてご利用下さい。
グループホームのご見学は随時、承っております。



障がい児通所支援

児童発達支援・
放課後等デイサービス

つなぐ

つなぐという事業所名の由来は、子ども一人ひとりの将来へ向けてたくさんの人や社会がつながり、子どもにとって希望に満ち溢れた将来へつながるようにとの想いを込めました。たくさんの人をつなげられるような活動を事業の柱にしながら、毎日楽しく過ごして頂けるよう多種多様な活動を用意しています。

利用定員 児童発達支援・放課後デイサービス 多機能型事業10名



活動内容

障がいのある子どもたちが自尊感情を育てながらのびのび安心して過ごすことのできる居場所づくりをすすめています。子ども期にしか味わえない、子ども期にこそ必要な遊びや社会体験、地域との交流を積極的に組み入れ、地域で豊かに生きていく力を育む活動を行っています。平日は小集団の活動と一人ひとりに合わせた活動を行い、長期の休みや土曜日にはご家族を招いてイベントを企画したり、プール外出などを行っています。



個別活動

一人ひとりに合わせて【コミュニケーション、対人関係、身の回りのこと、学習、運動、あそび】の6つの力を育てていきます。療育の内容はお子さまに合わせた内容を作成・提供します。



全体活動

小集団で様々な年齢の子ども達と一緒に活動しています。子ども同士がかかわりを持てたり、様々な想いを共感できるような環境や場面の設定をしながら活動しています。



日中活動

指定障害福祉サービス事業所
(生活介護)

北広島デイセンター

色々な日中活動を提供し、利用者様の人生を豊かにすることが事業所の役割だと考えます。「明日も来たいデイセンター」を事業所目標とし、目的を持って生きていくことの素晴らしさを『はたらく』というテーマから感じていただけるような支援をしています。

利用定員 生活介護40名



個々に合わせた日中活動のプログラム

“体力”“軽作業”“芸術”の3つの“活動”を柱とし、地域との関りを大切に「社会参加」の要素を取り入れながら、いくつかの活動種類から本人に合ったプログラムを計画し提供します。各活動にはステップアップや日常生活につながるような目的を設定し提供しています。利用者様一人一人が目的を持って自分の持つ能力を発揮し、自己肯定感を育み、それをやりがいや生きがいとして、豊かな生活につなげていきます。また、通常活動以外でも、“ドリームチャレンジ”と称し、利用者様の新たな強みを発見する目的で、様々な活動を経験して頂いています。

体力活動

- ・長距離歩行
- ・短距離歩行
- ・リズム体操
- ・スポーツ
- ・機能訓練 など



リズム体操

軽作業活動

- ・リサイクル
- ・公園管理
- ・古紙回収
- ・ペットボトルラベル剥がし など



リサイクル



公園管理

芸術活動

- ・音楽
- ・創作
- ・花壇活動 など



ドリームチャレンジ
(スポーツ大会)

自分らしく過ごせる活動室

利用者様は活動室に所属してもらい、同じ活動室で他者を意識した関わりやそこでの役割を経験することで、「ありがとう」を贈り合う文化や自分は必要なんだという自己肯定感を育みます。デイセンターでは5つの活動室があり、活動室毎にテーマを持って過ごして頂いています。



自分の時間を過ごせる自分のスペース



一日の予定を確認



皆の分のお茶を準備



活動室の皆と散策

事業所の特徴

送迎

北広島市近郊を送迎車で運行しています。市外の方も起点で送迎しています。

食事

厨房から出来立ての食事を提供します。アレルギーの食材はメニューに合わせて個別に対応します。

地域

北広島市は自然と都市機能が調和したところです。事業所周辺には公園やコンビニがあり、活動でも利用します。

還元金

軽作業活動で得た収入から還元金として、毎月お渡ししています。

意思決定

iPadを“意思形成”“意思決定”の支援に活用します。

多職種連携

支援において、法人内の理学療法士、栄養士、看護師とも連携し、専門的な視点でサポートします。

事業所パンフレットもありますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

日中活動

指定障害福祉サービス事業所
(生活介護)

北広島コラボ

利用者様が安心して通える事業所としてだけでなく、成功体験により「次も頑張ろう」「新しい事にチャレンジしたい」という気持ちになっていただけるような支援を大切にします。「すべての支援は利用者様のために」を事業所目標とし、職員一丸となって利用者様一人ひとりに全力で支援しています。

利用定員 生活介護60名



ミルト

部門目標「今、そして未来を大切に」

重症心身障がいの利用者様に対し、個別活動プログラムを通し日々の楽しみだけではなく、作業、役割などを頑張る事で得られる達成感を大切にします。

また数年先の身体状況を見据えた身体づくりを支援する為、専門的な知識と技術の向上に努めます。

多職種や併用されている事業所、相談事業所とも連携を密にし「医療」と「介護」によるその方らしい豊かな人生を支援します。天井走行リフトやミスト浴槽などを完備し、ノーリフトケアを推進しています。



創作活動



外気浴



感覚統合活動



ミスト浴



天井リフト

いんくる

部門目標「らしく たのしく ほこらしく」

就労意欲がありながら、一般就労が難しい方へ作業を行う機会や生産活動の場を提供します。

「はたらく」を意識して、成功体験を積み重ね達成感・充実感を生き甲斐に変え、豊かな生活を目指す『はたらく 生活介護』です。“農福連携”での農園作業や、地域のニーズに応える除草・除雪作業など作業種も豊富です。自社製品の「みつろうキャンドル」や「思い出缶バッジ」の作成など、自分らしくはたらく事に誇りを持つことを大切に支援します。

聴覚過敏の方も利用しやすい環境の個別室を4部屋完備。作業の場面や休憩時にも使用できます。



みつろうキャンドル
作業



除草作業



ウェス作業



個室



休憩スペース

日中活動

多機能型事業所
(就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練))

北広島セルプ

北広島市内の江別恵庭線(道道46号線)沿いに位置した3階建ての就労支援事業所です。
「明日も行きたくなる職場」を事業所の運営方針に掲げ、ここに通うすべての皆さんが、生き甲斐とやり甲斐を得られるよう、例え時間を要してもその人らしく作業に取り組み、少しずつでも前進できるよう支援していきます。

利用定員 就労継続支援B型54名、自立訓練(生活訓練)6名



このような支援をしています

就労継続支援B型

20社以上の企業と提携を結び、多種多様な作業により、利用者様の就労ニーズに応じた作業種の提供を行います。作業をする事での達成感、充実感、満足感を育み、活気ある生活スタイルを目指します。



農園での収穫作業



エプロンたたみの作業



製袋作業



事業所一体となって支援します

自立訓練(生活訓練)

体力維持・向上に主眼を置き、スポーツや運動を通じてコミュニケーション力や基本的習慣の獲得を主とした支援を展開します。併せて、作業機会の提供や生活スキルの向上をもって地域就労や地域生活を目指し、スポーツと働くことの両立を支援する事業を有期限で提供します。



スポーツ練習を通したコミュニケーション力獲得



マラソン大会の参加



体力向上のためのマシントレーニング



体力維持のためにストレッチ

日中活動

多機能型事業所
(就労継続支援B型・就労移行支援
生活介護)

就労センタージョブ

就労継続支援B型・就労移行支援・生活介護の多機能型事業所として事業運営しています。働く意欲がありながら就労する事が困難な方へ安定的な作業環境と一定の所得を補償しスキルアップを図ります。また、マナー講習などを行ったり個別にプログラムを組み就職・自立に向けて支援する事業所です。

利用定員 就労継続支援B型48名、就労移行支援6名、生活介護6名



コンセプト | 「食とスポーツと芸術で未来をつくる」

就労センタージョブは、建物が生まれ変わり、今まで以上にたくさんの人たちに新たな活躍の場所を提供します。

私たちの事業所からは、新球場をはじめとする北海道ボールパークを見晴らすことができ、夢のある場所で夢のある事業を展開できることにわくわくしています。これから長きにわたりこの地に必要とされる場所をつくりたい、多くの人が集まる賑やかな場所をつくりたいという想いから、私たちが大切にしている「食」を通したつながり。ボールパーク構想が結びつける「スポーツ」とのつながり。そして、障がいや年齢、性別などの垣根を越えたつながりを「芸術」(文化的な活動の創造)を通して実現していきます。



就労継続支援B型 キッチン「まんぞく屋」

弁当・食事製造で自身の能力を十分に発揮し、やりがいや責任を感じながら、はたらく力を身につけます。

- 包丁を使った野菜のカット、調理、計量、盛り付け など
- 日替わり弁当、特注弁当製造。法人内グループホームの食事提供。法人内通所事業所への昼食提供

就労継続支援B型 パン工房「にじパン」

パンや洋菓子製造の仕事を通して、自立した心を育み、はたらく喜びを感じられる支援を実施します。

- 生地づくり、計量、袋詰め、洗い物 など
- 納品先: 市内企業(10ヶ所以上)、市内の小・中学校、保育園、幼稚園、学童クラブ

就労継続支援B型 パン販売「あぐり」

販売・接客を通して、社会とのつながりや役割を感じながら、お客様に喜んでもらえる工夫とチャレンジができる場所を提供します。

- 接客、レジ対応、販売 など
- 納品先: くるるの杜、輪厚パーキングエリア など
- 対面販売: 北広島駅構内福祉ショップ「ふゆーる」、大曲地区夢プラザ内喫茶「シンフォニー」

就労移行支援 “はたらく”を応援「ステップ」

一般就労を希望する方へ、専門のテキストやプログラムを使用して支援します。

- 移行支援プログラム: 専用テキストでの座学

レストラン & ベーカリー 「にじのかかるところ」(就労継続支援B型)

こだわりの食材を使って、安心して食べていただけるお食事と和菓子・洋菓子の豊富なメニューを取り揃え、カフェとしても十分に楽しんでいただける場所になっています。そして、そこに“アート”のある空間をつくり出し、皆様の心を豊かに活力のあるものにしていきます。『にじのかかるところ』という店名には、“たくさんの人たちとの出会いやつながりを大切にしたい”“虹のようにほっこり笑顔にさせてくれて、なんだかしあわせな気持ちにさせてくれる”。そんな場所にしたいという想いを込めました。



芸術文化活動拠点 「にじのあとリエ」(生活介護)

芸術文化活動を支援し発信する拠点として新設。

絵を描いたり、縫い物をしたり、陶芸や木工など、制作が好きな人が集まって、自分のペースで活動できる場所を目指します。



在宅支援

行動援護、身体介護、家事援助、
通院介助、日中一時支援、移動支援

フィットマン

地域にお住まいの障がいを持つ方々を対象に、
安心して暮らすことができるようお手伝いします。
また、放課後や勤務後に活動プログラムを提供することで、
余暇の充実を図るとともに、ご家族の就労の機会や
一時的な休息を支援するという側面も併せ持っております。



サービスの内容について

居宅介護等事業

身体介護	家庭に訪問し、入浴介助(清拭・洗髪)、排せつ介助、食事介助、衣服の着脱の介助等を行います。
家事援助	家庭に訪問し、調理・洗濯・掃除・買い物などの必要な家事等の援助をします。
行動援護	専門の研修を受けた職員がご本人の障がい特性に応じて外出の計画から実行まで対応します。
通院介助	定期的な通院等のため、受診等の手続きや病院内の移動等の介助を行います。

北広島市地域生活支援事業

日中一時支援	障がいのある方の余暇活動をする場の提供や支援を行います。
日中一時支援(入浴介助)	市内に在住される、障がいをお持ちの方を対象に入浴支援を提供します。



移動支援 余暇外出や買い物、市役所等へ付き添います。

プールや温泉、映画鑑賞やカラオケ、スポーツ観戦等、ご希望の外出を支援しています。



フィットマン公式キャラクター



フィットグリーン



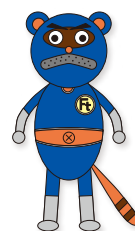
フィットイエロー



フィットレッド



フィットピンク



フィットブルー



利用受付: フィットマン

TEL(011)370-1727

FAX(011)373-5598

携帯電話(080)5835-9394

相談支援

指定特定・一般相談支援事業所
北広島市地域生活支援強化事業

障がい者就労支援センター めーでる

主に就労へ向けて、精神保健福祉士やジョブコーチの資格を持った相談員がご相談をお受けします。
住居を探すお手伝いもします。
また、福祉サービスを利用する際は計画を作成します。



こんなお悩みありませんか？

- ・職場の対人関係で悩んでいる・・・
- ・転職を考えているのでサポートして欲しい・・・
- ・履歴書の書き方が分からない・・・
- ・住む家を探しているがどうしたら良いのかな？
- ・福祉サービスを利用する時はどんな手続きが必要なの？
- ・障がいがある方を雇用しているが、どのように関わったら良いの？

就労準備、求職活動

仕事を探すためのお手伝いをします。面接の練習や履歴書を書く練習をはじめ、ハローワークへ行くお手伝いをしています。

関係機関との連絡調整

市役所、ハローワーク、職業センター、事業主、福祉施設等と連携してアドバイスや情報提供を行います。

職場定着支援

職場内での困りごとがあれば相談してください。職場への訪問もします。ご本人だけでなく、事業主の方からの相談にも応じます。

住まいに関して

アパートやグループホームを探している方への入居に必要な調整・家主等への相談・助言も含める支援を行います。

サービス等利用計画、地域生活への移行、定着相談

障がい福祉サービス等の利用を希望する方のプランを作成します。また、施設や病院に長期入所等していた方が地域での生活に移行するお手伝いをします。

対象の方

北広島市にお住まいで、障がいのある方。
(知的障がい、精神障がい、身体障がい、発達障がい等)
※手帳がなくても構いません。
ご家族の方、事業主、関係機関の方からのご相談も承ります。まずはお気軽にご相談ください。



相談支援

指定特定相談支援事業所
指定障がい児相談支援事業所

相談室ここに

社会福祉士や精神保健福祉士等の資格を持つ相談支援専門員が、障がい児・者やそのご家族からのご相談をお受けするほか、障がい福祉サービスについての情報提供や助言をさせていただきます。

- ・ここに集まる
- ・ここからはじまる
- ・ここではなくむ
- ・ここからの自分がここから動き出す



サービス等利用計画

相談支援専門員が、障がい福祉サービスの利用に必要な「サービス等利用計画」を作成し、一定期間ごとにモニタリング(評価・見直し)を行います。

相談について

まずはお話をお伺いし、将来の目標やご希望される生活に合わせてサービス調整や申請手続きをお手伝いします。相談については費用の負担はありません。

機能訓練

利用者様と職員の健康を
目指します！

機能訓練センター

理学療法士、介護福祉士、
ノーリフトケアコーディネーター、
リフトインストラクターの資格を有する職員が、
法人を利用する利用者様や働く職員へ
専門的な評価を基に対応しています。



実際に触れて体験することが出来る、展示スペースを設けています。
商品ポップも掲示していますので、今後購入する際の参考にもして頂けます。



利用する方を選ばない、どなたも利用しやすい環境を整えています。
多目的トイレには、跳ね上げ式の手摺の他、パット交換も出来るように、折り畳み式ベッドも設置しています。



お使いの福祉用具が破損してしまった際、簡単な修理にも対応しています。
業者に依頼すると数週間かかってしまいますが、対応可能なものであれば、長期間お待たせすることなくお渡し出来ます。



ブランコ等の吊り具やボールプール、
トランポリン等の遊具で体を動かしたり、
スヌーズレンでゆったりと安らいだり、
”静”と”動”の環境が揃っています。
広い運動スペースは、天気に関係なく思いきり
身体を動かせます。



持ち上げない・引きずらない・抱えない＝ノーリフトケアの支援を進めており、各事業所と連携しながら、利用者様だけでなく、職員の身体も守るケアの普及に努めています。

医療ケア

その人らしい暮らしを支えるために、
医療・看護の面から健康状態を
サポートします！

入所施設看護ステーション

看護師がチームとなり、共栄、とみがおかに入所されている
利用者様の健康維持のため日々奮闘しています。
毎日飲まれる薬の管理、内科をはじめ様々な病院への引率、
施設に医師が来て診察をする往診補助(精神科、内科、眼科、歯科、皮膚科)、
健康診断や各がん検診の企画・実施を行っています。

個別支援計画作成会議や栄養ケア、ケースカンファレンスにも積極的に参加し、健康面や医療面からのアドバイスなど、多岐に渡って利用者様のサポートをしています。

ポケットエコー

下剤に頼らない排泄ケアを進めるため、ポケットエコーを用い直腸にある便を確認して、不要な下剤を使用しない取り組みをしています。



医療ケア

受診や入院が難しい利用者様に可能な限り施設内で医療を提供できるよう取り組んでいます。



説明と同意

言葉でのコミュニケーションが難しい利用者様には写真や絵カードを活用し、説明と同意を得るように心がけています。
今後は人工肛門や経管栄養など、医療ケアが必要な方も施設で過ごすことができるように環境を整えていきます。



看取り援助

すべての人の
生きざるをささえます

看取り援助推進室

人生最終章における「最善の意思決定を支援する」には、
家族との死を見据えた「いのちの相談」が必要です。
看取り援助を「推進する活動体」として看取り援助推進委員会の学びを深め、
事業所の「個別支援」を看取り援助で達成できるように連携して参ります。

北ひろしま福祉会は、令和元年10月に設立70周年を迎え、これまでの事業活動を振り返りつつ、法人理念である“わたしたちは すべての人の幸福(しあわせ)のために地域福祉を推進する 役割を担います”の実現に向けて培ってきたノウハウを地域に発揮する事を強く決意し歩みを進めています。

そして令和3年度、新たな部署が誕生しました。その名も“看取り援助推進室”です。室長に一般社団法人 生活を支える看護師の会の会長 小林悦子氏を迎え、法人内に“看取り援助推進委員会”を設置し「看取り援助ができる法人になる」の実践を目指してまいります。

法人として、今まで主に障がい福祉事業・介護保険事業・地域活動事業を運営し、中でも障がい福祉事業では長きに亘って事業を進めて参りました。その障がい福祉事業をご利用いただいている利用者の皆様に対し、生涯に亘って支援しつづけることへの誓い、そしてスローガンとして“すべての人の生きざるをささえます”を掲げ、一人ひとりの想いの実現を最期の時まで支援する実践と仕組みづくりを推進するためであります。

介護保険事業を通して多くの“いのち”から学ばせていただいた“看取り援助”の実践を活かし、取り組んでいきます。



看取り援助推進室 室長 小林悦子



看取り援助推委員会

社会福祉法人 北ひろしま福祉会 事業所一覧



とみがおか

〒061-1112
北広島市共栄276番地16
TEL (011) 372-3164
FAX (011) 372-3545

入所施設看護ステーション

TEL (011) 372-1750
FAX (011) 372-3545

共栄

〒061-1112
北広島市共栄276番地8
TEL (011) 373-8671
FAX (011) 373-8672

グリーンパーク北ひろ

〒061-1121
北広島市中央2丁目6-3
TEL (011) 373-5599
FAX (011) 373-5598

つなぐ

〒061-1121
北広島市中央2丁目6-3
TEL (011) 370-1730
FAX (011) 370-1731

北広島デイセンター

〒061-1123
北広島市朝日町4丁目4-11
TEL (011) 372-7832
FAX (011) 373-8857

北広島コラボ

〒061-1121
北広島市共栄276番地46
TEL (011) 807-0508
FAX (011) 807-7320

北広島セルプ

〒061-1113
北広島市共栄町4丁目1-12
TEL (011) 372-7860
(011) 376-8572
FAX (011) 376-8573

就労センタージョブ レストラン&ベーカリーカフェ にじのかかるところ

〒061-1112
北広島市共栄276番地44
TEL (011) 373-4896
FAX (011) 373-9179

フィットマン

〒061-1121
北広島市中央2丁目6-3
TEL (011) 370-1727
FAX (011) 373-5598

機能訓練センター

〒061-1121
北広島市共栄276番地46
TEL (011) 807-7106
FAX (011) 807-0568

デイサービスセンター ヴェール

〒061-1112
北広島市共栄276番地9
TEL (011) 376-7233
FAX (011) 373-3051

東部緑の苑

〒061-1112
北広島市共栄276番地20
TEL (011) 376-8686
FAX (011) 373-8711

法人本部

〒061-1123
北広島市朝日町2丁目6番地9
・経理部
・人事部
・地域貢献推進部
・施設危機管理部
TEL (011) 373-8809
・めーでる
TEL (011) 372-5525
・相談室ここに
TEL (011) 372-3373
・利用相談センター
TEL (011) 373-7108
・ケアプランセンター
東部緑の苑
TEL (011) 373-8118

社会福祉法人 北ひろしま福祉会

〒061-1123 北海道北広島市朝日町2丁目6-9 TEL:011-373-8809 FAX:011-373-8673

北ひろしま福祉会

検索